

平成 21 年 8 月 26 日

## ALL FOR HIROSHIMA

### 「旧市民球場を再活用したいぞ」フォーラム 議事録

日時：平成 21 年 7 月 26 日（日） 14：00～16：30

場所：広島県立美術館 地下 1 階講堂

出席者：ALL FOR HIROSHIMA 代表以下 4 名

広島市議会議員：豊島岩白市議 八軒幹夫市議 三宅正明市議 母谷龍典市議  
(50 音順)

大竹市サッカー協会 下山寛之理事

広島市民球場跡地利用市民研究会 古池周文様

喫茶マリーナ店長 中川公一郎様

※当日の映像を元に再現しておりますので、不明瞭な部分や中断されてしまった部分がございます。あらかじめご理解ください。

#### 1. 開会

本日のプログラム概要説明

代表挨拶

来賓紹介

#### 2. 「旧市民球場跡地問題の流れ」

A F H 代表：楨坪大介

#### 3. 「A F H が提案する旧市民球場改修フットボールパーク案」

A F H：伊藤アツシ

①なぜ市民球場跡地にサッカースタジアムなのか？

・「広島らしさ」と「持続可能性」

- ②市民球場のスタンド その機能を生かしたまま活用する
- ・旧市民球場スタンドの角度はサッカー観戦に向いている。
- ③市民球場はボロボロなのでは？
- ・旧市民球場は本当に使えないほど老朽化しているのか？  
2階スタンドは86年に作っている。他にも何度か改修をしている。  
甲子園も改修しようとしている。  
耐震基準が一番厳しいだろう。→耐震診断をしなければならない。  
施設の改修は必要。
  - ・スタジアム改修コスト→参考事例 開成山野球場
- ④新築のサッカー専用スタジアムは今の広島で建設可能か？
- 中央公園に→騒音問題が  
新築は屋根付きで150億円程度費用がかかる。  
野球場を建てた直後では、民意も得られないだろう。
- ⑤ビッグアーチはどうあるべきか？
- コンサートなどで使用料収入が得られる。
  - ・既存ビッグアーチの活用方法
  - ・ビッグアーチはどうするのか？  
5万人収容のアリーナの活用方法をもっと検討すべきでは？  
サンフレッチェが使えるんじゃないの？とはならない。
- ⑥スタジアムイメージ図
- サッカー場・広場・劇場・平和施設が並立する施設が可能。  
市民が対立する場を作ってはいけないのではないか。
  - ・スタジアム詳細
    - フィールド
      - 国際基準に沿ったフィールド
    - ホームスタンド（3塁スタンド）
      - スポーツミュージアム併設 託児所なども
    - バックスタンド（1塁側スタンド）
      - 放送ブースを個室のような部屋に。カープなどのダッグアウトを残す。
    - アウェイスタンド（外野ライト）
      - 武道場の辺りに地域の特産品など出店。アウェイサポーターを歓迎。
    - ピースヒル構想（外野レフト）
      - 平和の軸線などを考慮する。人工地盤の内部を観光バスの駐車場などに。  
新宿や渋谷は「広場」だから賑わっているのではない。  
「向こうには何がある？」という人々の好奇心を誘う構造になっているか

ら賑わっているのではないか。

メインスタンド（外野レフト）

必要最小限でコンパクトなものを。

劇場

いくつも既存の劇場がある。

莫大な費用のかかる劇場よりは、仮設のステージの方が良いのでは？

平和祈念施設

だだっ広い場所にポツンとあるよりは、賑わいを感じるにより、こんな場所に原爆を落とされたことを実感してもらう。

商工会議所ほか

なぜこの場所に商工会議所が建っているのか。理由もなく建っている訳ではないはず。

それを忘れて移転して良いのか？

もう少し規模を下げた施設にできるのでは？

・「持続可能性」

ロンドンオリンピックのメインスタジアムは8万人収容だが、オリンピック終了後、街の負担になってはいけないので、55,000人分は仮設で建設。

ロンドンはどういう街であるか、開催前からメッセージを発信している。

⑦なぜ市民球場にサッカー場なのか？

- ・これまでの広島の色を受け継ぐ
- ・これまでの広島の思いを受け継ぐ
- ・みんなの夢を実現できる

「あれか？これか？」ではなく、「あれも！これも！」で良いと思う。

伝統的な祭りが途絶えていることが淋しい。

原爆により「伝統」を失った広島が、「(役目が)終わったから壊す」ということで良いのか？

【3. の質疑応答】

参加者

A F Hの案では20億で改修と言うが、中国新聞で見た広島市の試算と違うのはなぜ？

伊藤アツシ

どの案か示していただけるとありがたいのですが。

新築の場合でしょうか？

内野・外野共に残してサッカースタジアムにできると市が1度出した試算も20億に近かったはずですが、かなりの額になるのは、全部残して完全新築にしたものかもしれません。

はっきりとした仕様がわからないので、申し訳ありませんが、よくわかりません。

#### 4. AFHの活動報告

AFH：石橋竜史

##### ・広報活動

現在、重点的に行っているのは署名活動。

第1弾署名活動は、「市民球場解体反対」。8月上旬から開始。

11,000筆集め、11月に提出。

第2弾署名活動「市民球場を再活用しサッカースタジアムへ」。

現在、14,000筆集まっている。

9月議会ないし12月議会へ向け、30,000筆集める予定。

周知徹底のため、チラシを配布・ポスティングを展開。

ポスターを作成。

協賛店にチラシや署名用紙を置かせてもらっている。

##### ・20億円の改修費用は、税金を使わず、民間で賄いたい。

財界などにプレゼンテーションを行っている。

ある企業からの賛同の声を頂いている。

現在の経済状況なので、企業名を明かすのはちょっと待ってほしい。

##### ・ミュージシャンなどにもプレゼンテーションを行っている。

##### ・広島県人会にも。

##### ・広島東洋カープOBからも賛同の声をいただいている。

・1960年に市民球場でサッカーの国際親善試合が行われていた。数年後にも市民球場で社会人リーグが行われている。

##### ・スポンサー

##### ・7/11に人文字ピッチ計画があったが、悪天候により中止。再挑戦の予定。

##### ・8月にサッカー専用スタジアム推進プロジェクトが改めて発足。

サンフレッチェ、後援会、県体育協会、県知事、市長が名を連ねている。

##### ・サイトと、プロジェクト002、003の紹介。

## 5. 広島市民球場跡地利用市民研究会

代表：古池周文様のプレゼンテーション

「広島市民球場跡地利用—市民提案」

・フラワーフェスティバルでアンケートを取った。マスメディアに取材にきてもらった。(削除)

その自由意見の書き込み欄では、「球場をできるだけ残してほしい」という意見が最も多かった。

・市はライトスタンドを残す案を出した。広島市が球場の電車通り側は残せないとしている理由として。

①平和公園から広島城までの動線計画上、遮断するものは避けたい。

②印象的に「高い壁」。空間を遮っている。

③商工会議所の球場跡地内への移転。

④残せば残すほど、耐震診断費、補強工事費、維持費が比例してかかってくる。ただし、紙屋町方面を新球場との関係で盛り上げようと方向性を持つならば、旧市民球場と魅力ある残され方をしていく必要があることに注意してもらいたい。

たとえば、空間的に遮断している「高い壁」になるのであれば、考えてみたところ、2階席がなくても、顔の部分は残したい。商工会議所の建物は、高さ制限が20mから25mへ切り替わるところまでセットバックしてもらいたい。商工会議所の大きな塊が、もし球場の顔の前に出てきたら、違和感がある空間になってしまうんじゃないか。

球場の顔の部分はお金がかかるが、残していただいて、商工会議所はセットバックしてもらい、壁面緑化はできないか？

2階部分などはオープンカフェで、人々が上がれるように。見晴らしの良い空間になれば良いな。

BUYひろしま地産地消というイベント（キャンペーン）があって、朝市などあって、フレームだけでもあれば、きっかけになるし、カフェ、屋台、そういうもので街を活性化など色々な可能性がある。

きっかけは、全部壊してしまうのは、つらいものがあるので図面を描いてみた。

私は市民球場の通路も好きである。

ライトスタンドを残しながら、ホームベースは残してほしい。

商工会議所は下がってほしい。

動線計画がある。人が動くのを遮断する空間になってほしくない。

たとえば、紙屋町側や原爆ドーム側から北側の機能に様々な通路の可能性を残

しておくべきだ。

ライトスタンドの保存についても、できれば照明塔まで残してほしい。ライトスタンドは非常に美しいと思っている。

スクリーンがあって、円形劇場のようなイベントもできるし、コンサートもできる。ブルペンがあって、津田プレートやロッカールーム、芝生も残せば良いんじゃないかと、球場としてスポーツ機能も。芝生の管理が難しいのかもしれないが。完璧な仕事じゃなくても芝生を残してほしい。

ブルペンは非常に魅力的な空間。

津田プレートは新球場に行っているが、レプリカを貼りたいという市民団体の人もいる。潔くビスだけ残して、説明看板を残すだけで良いという人も。

カープファンの中でも意見が色々分かれている。

ロッカールームは一部だけ残して、カープの歴史館を展示。

球場跡地のイメージボードがあるが、人と緑と建築と川と、虫や鳥たちが、共存して、あの空間に戯れている、というイメージ。

人間と人間だけ楽しければ良いのか、環境問題もあるし、木を多く。

地球と人、人の関係、持続性、バランスの取れた都市モデルとして考えていく必要がある。

アンケートに多かった大型遊具、丘を作って滑り台。

劇場は今回見送って、ファミリープールあたりを考える必要があるかな、と。

上から見て、右上の方に飲食施設を考えている。

右下にあるのが、復興資料館。原爆資料館では不十分。

全体の計画として、

球場跡地の特殊性が重要である。

①軍都の象徴でもある西練兵場。

②被爆の中心地。

③復興を支えた心の支えがあった場所。

時間軸として関連している。球場跡地の物語を最大限に残していく。

未来への可能性も最大限に。

球場を完璧に残すと未来への可能性が閉じてしまう。

どこを解体して残すのか、バランスを考える。

全体の計画の中でバランスを考える必要がある。

明日の広場を提唱している。屋根が欲しい。屋上緑化や太陽パネル。

3日後に走り出した被爆電車、復興の支えとなって元気づけた。

触れるように。

広告のところに、被爆者の言葉や未来へのメッセージを。

被爆電車は、女性が運行していた。

そういう歴史を残してほしい。

2つの復興のシンボル。(被爆電車と球場ライトスタンド)

ヒロシマ復興の3要素。(復興資料館+球場電車通り側、被爆電車、球場ライトスタンド)

その周囲には緑。

遊具は普通の遊具で良いと思う。

## 【5. の質疑応答】

参加者

夢のある話だ。しかしながら、下世話な話であるが、お金の話が見えてこない。

現実には、市が秋には解体しようかというときに、意図でもあるのだろうか？

古池様

忘れていた。全体としては35億円程度になる。屋根のある施設が14億円くらい。耐震診断をしてみないと、どのくらいの耐震補強工事になるのかわからないので、仮に4億を加えると…39億くらい、もしくは、もっとかかるかもしれない。

旧市民球場も少しずつ整備されてきた。一気に整備する必要はなく、4～5分割、8億円ずつに分けても良い。

## 6. パネルディスカッション

進行：石橋竜史

パネリスト

A F H：榎坪大介、伊藤アツシ

広島市議会議員：豊島岩白市議、八軒幹夫市議、三宅正明市議、母谷龍典市議  
(50音順)

大竹市サッカー協会 下山寛之理事

広島市民球場跡地利用研究会 古池周文様

喫茶マリーナ店長 中川公一郎様

石橋

昨年中に結論が出て計画が決まるはずだったが、まだ決定していない。

またその予算なども3月の定例議会では提出されたが、6月では出てこなかったり、まさに混迷を極めている。

なぜそこまで混迷しているのか、問題点を改めておさらいをしたい。  
まず現場の声と言うことで、市議の先生方から現状や問題点を、まずは豊島先生からお願いします。

#### 豊島市議

3月26日の議会で修正案可決ということだった。  
私は反対票を投じさせていただいた一人だ。  
修正案に反対したということで、じゃあ公園案に賛成なのかというと、そうではない。  
様々な意見が出てきているが、実際問題、ここにいる議員4名もみなさん自身も、実際に広島市がどのような跡地利用計画をしていることにイメージを共有されている人は1人もいらっしゃらないと思う。  
古池さんのブログなども拝見しているが、「こうなればいいなあ」という「たれば」の話ばかりで、みなさんが好き勝手言っているのが実情なんです。  
ではなく、そこで感情的、一方的にサッカー、バスケ、ラグビーなどそれぞれが言いあったら、結局この問題は着地点が見えないんです。  
広島市が1900万円を出した予算案を議会は否決しましたが、この予算はイメージパースを作らせるのが主な予算です。  
まず広島市として作るものを、私たちがイメージを共有して、この問題に対してイエスかノーか、じゃあこれがダメならこうするべきだという建設的な議論をしていくためにも、私は6月の議会の段階で広島市に「市民に対してこういうものを作ります」という説明責任を果たせることが必要ということで（修正案に）反対をした。  
9月議会にはおそらくまた出してくると思いますが、そこではぜひとも広島市が出してきたら認めるということではありません。  
議会として市長が出してきたものに対する議決権というものがありますので、それまでに広島市が作ろうとしているものを私たち一人一人が共有する、そしてそれに対して建設的に、あれがいい、これがいいという議論をしていくことが今、市民球場跡地の問題の大きな問題であり、焦点であると私は捉えております。

#### 母谷市議

私は3月の球場跡地に関する修正案には賛成をしました。  
これは調査費の1900万円を削除するという修正案でありますけども、今後これをどうするかということでしたが、市が選考委員会を開いて優秀案を2案に

決めた。

最優秀案が決まらなかった。こういう異常事態の中で、商工会議所の案がでてきました。

そしてそのうちそれらを合体したような、市長からはイメージ的には第2平和公園のようなものを作りたいというような話でしたから、そういうものがイメージの中で先行していたんじゃないかと思います。

これでは広島に150万人の集客ができるのか、あるいは活性化できるのかと、市民球場に代わる新しい広島のシンボリックな元気のある施設ができるのか、色々と市民の皆さんにもはっきりと決まったものがまだなかったと思います。そういう意味でまだまだ議論をしていく余地があったと思いますし、今日もこういう場が設定されたわけですが、こういったことの中で市民の皆さんからコンセンサスが合意されていくということが大事なことでありましたから、修正案に賛成して調査費の1900万円は削除するということに賛成した訳ですけども、今日は2団体のお話を聞かせていただいた訳ですけども、広島がいかに元気な街で土地を有効に使っていかなきゃいけないかですが、色んなことを提案されるんですが、都市公園法という法律があります。

これが1つの大きな制約になっております。このことを無視して何でもできるということにはなりません。

それからもう1つは、この土地は広島市が管理をしているけども、使用しているけども、持ち主は国です。

そういった制約もあります。

その中で何ができるのかということをも市民の皆さんのご意見を集約しなければいけません、制約があることを忘れずに考えなくてはならないと思います。

#### 八軒市議

跡地問題については1年生で、経緯というものを議員になってからしかわかりません。

それまでに一市民として見ていた時に、確かにコンペで跡地案とかでてきて新聞とかで知ってはいたんですが、議員になってからこういうお話を伺うまで、どういう経緯をたどってきたか詳しい話を知りませんでした。

この問題については色々なところから意見を頂戴するのですが、非常に反対が多い。

それと、新球場を建設する時の案を決定するにあたっての、地元への説明とかそういうものが十分でなかったという話を聞くことができました。

ただ豊島議員も言っていましたように、私も色んな方のご意見をフランクにお

受けして、本当に広島にとって何が一番良いのかということを考えなきゃいけないんじゃないかと思っていますんで、今日は誠に申し訳ないんですけども、先入観を排して、真っ白な気持ちでみなさまのご意見を聞かせていただければという思いでここに来させていただきました。

司会者からありました「市民球場のまとめ」ということで、どこに問題があるんだろうと言われた場合に、一市民の立場としてもものを言わせていただけると、非常にわかりにくくて、どこでどうして決まったのかがわからないし、いつものようなかたちになったのかがわからない。

それから、なぜこれが必要なのかということ自体についても、おそらくほとんどの市民の方はご存じないんじゃないかと思っています。

そういう意味ではもう少し幅広い市民の方に対して、メリットもデメリットも含めた丁寧な説明をして、その議論の上でやはりやっていくものじゃないかと考えてますんで、拙速な議論を出すべきじゃないとこの議論については考えているということについて、お答えにさせていただきたいと思います。

### 三宅市議

みなさんが真剣に聞かれているので、とても興味深い内容だということがわかります。

2、3、今までの話で私の知り得る限りのことを少しご説明しますと、まず、市民球場の埋蔵金があるんじゃないかというお話をどなたかがされていましたが、それは広島市民球場基金というものでして、現在残高が12億円ほどあります。

このお金は、旧広島市民球場の改修工事費や、必要と認められれば広島東洋カープの選手獲得資金とか育成資金とかに使えます。

しかし、これは3月26日に市民球場の調査の修正案を可決したということになっていますけども、同じ議会の中で広島市民球場基金というのを廃止して、旧広島市民球場跡地利用基金という名称に変わりました。

私も議会の中で質問・討論もしたんですけども、そのときの都市活性化局長の発言では、そのまま12億円をもって跡地に使いましょうということで12億円はそのままになっております。

ですから、埋蔵金というお話ですけども、今はそういう使い方をしようと広島市はしようとしている。

それがまず1つ。

それと耐震の検査。

これは7月7日の日に広島市のHPで公募されましたけれども、1～3部工事

までの耐震診断及び補強・撤去工事一式ということで入札が出されました。ですから、広島市としては調査費はないということですが、すでに公募した訳ですから、担当の課長等とお話をしたわけですが、何でこんな勝手なことするの？と。

でも基本は出ている訳です。

ということは、広島市としては恐らくこのまま進めていくだろうなということには間違いありません。

今、最近の2点ほどお話しさせていただいたんですが、私の考える広島市民球場跡地というのは、過去、被爆の体験を、平和の祈りを世界に発信し続けなければいけないという広島市の立場、国際平和文化都市を目指している広島市ですから、当然責務はあるにしても、それから1歩踏み出して未来に対して、例えば、今住んでいる広島市民の皆さんや、日本の皆さんに伝えていくことだけじゃなしに、もっと楽しい将来が、こういうふうな展望になるよ、ということを示せるかどうかなんだろうと私は思っております。

例えば、スポーツということを通じてそれを未来に伝えていこうというのも1つの方法だろうと思いますし、広場を作ってそれで皆さんに伝えていこうという方法も1つの方法でしょう。

その中で一番重要なのは、母谷先生もおっしゃられていましたけれども、市民のみなさんのコンセンサスという言葉がよく出てきます。

さきほどのアンケートの結果を言われておりました。

たとえば、平和公園でアンケートを取ったら、もちろん折鶴記念ホール作った方が良いに決まってるんですね。

じゃあ、マツダスタジアムの前であの球場を残して野球場でどうでしょうって言ったら、そりゃあそのまま野球場にしてくださいという意見が多いに決まってるんです。

つまり、アンケートを取る場所であったりとか、アンケートを取っている状況下において、そのアンケートの信用性というのはそんなに高くないということなんです。

ということは、みなさんのニーズをどうはかって行けば良いのかという方法なんですけども、アメリカの自治体とかではできるんですが、日本の自治体ではないんですけども、たとえば市民の皆さんの意見募集をインターネットでもしましょう、もしくは、アンケートもしますよ、年を取られている方はなかなかインターネットはできにくいから、区役所とかでもお話を聞きましょう、市役所でもお話を聞きましょう、小さな子どもたちはなかなか意見を言えないから学校でも聞くよ、そういうふうに色々な方法で市民の意見を聞くんだっていう姿

勢がもし広島市にあれば、お金をかけずとも今の状況を使えばできるはずなんですね。

それをやってもらいたいと何度もお話ししているんだけど、やってくれない。なんでかって言うと、それをやると多大なコストがかかり過ぎると思ってるんです。

で、そのためには、それをきいてもらうためにはどうしたらいいのかなといったことを考えるのはたとえばAFHがやっているこういった活動だとか、市民団体の皆さんがやっていらっしゃる活動だとか、そういうことを今集まってらっしゃる方々からどんどん広げていくしか方法はないんじゃないかなと私はそういう風に思っています。

私は修正案の議決に賛成はしましたけれども、この問題は恐らく議会の中でもこれから相当もめていくはずですよ。

ですので、みなさんの真摯なご意見をどんどん言っていただければとこのように思っております。

以上でございます。

#### 石橋

ありがとうございます。

先生方からもお話を頂戴したんですけれども、まず一般の方々が気になるのは、そもそもの各報道などでも広場をいかに有効に使うかなどの報道も見られるんですが、その報道の前に、果たしてシンボルである広島市民球場を、もちろん耐久的な問題もありますが、そもそも壊さなければいけないのか、解体して広場ありきなのか、AFHとしても一市民としても疑問に思うところなんですけど、先生方は市民球場に対してどういう思い、また解体するべきなのか、聞いてみたいと思うんですが、どうでしょうかね。

果たしてまず解体ありきなのか、と。

#### 豊島市議

これは一概に、これは個人的な考えを申し上げれば、私は解体してもOKだと思っております。

古池さんの考え方に近いんですけども、しかし広島市長であれば私の考えが市の考えになるんですけども、私たちが直接選挙で議員に選んでいただいているっていうのは、常に多くの市民の方々の最大公約数を組み込んで政治の中に落とし込んでいく、そしてその最大公約数の中で市が、市長が言っていることがおかしいのであれば、議決をする、議決の中で意思表示をするというのが、私

の中で議員の職責であると私は考えております。

そういった大前提に基づいて言えば、私自身が旧市民球場をなくした方が良いのか、あった方が良いのか、ということじゃなくて、実際問題、こういう形で活動されている方々に、もしくは本当に公園にしたがっている、博物館を置きたい、様々な方々に声をかけていただくんですけども、そういった声に対して真摯に私たちが対応していかなければならないということと、結局、先ほどの話に戻るんですけども、もちろんコンセンサスを煮詰めていくことは大事です。でも、今、いくらコンセンサスを私たちがここで得ようと思っても、机上の空論なんですよね。

広島市が今、入札の準備をどんどん進められている。

ここで3月26日に私たちが修正案を可決しようが、否決しようが、秋葉市長はやっていく人なんです。広島市は進めていくんです。

議会はあまり重視されていないということはあるかもしれません。

そういった中で、くどいようですけども、市にまず、こういった形のものを作るのかということ、逃げ場のないようなものをイメージパスにし、その上で、建設的にこういう様々な意見があるなかで、これはおかしいんじゃないか、いう訂正と提言を行っていく必要があって、私は皆さんに選んでいただいた議員・公人として発言していますけども、潰すとか潰さんとか言う議論の前に市がどういうものを出してくるのか、出した上で、私たちが議論をしていかなければならない。

そして、最大公約数を実現していかなければならない。

それが私の基本的な答えです。

#### 母谷市議

跡地利用ですから少なくとも現状のままではないということは確かでしょうですけども、全面的な解体ということにはアレルギーを感じますし、抵抗感を感じます。

そう意味では、今、市もそうしたことを感じているんでしょう。

広場のようなもの、公園のようなものを作って、なかでもライトスタンドを一部残すというようなことを言っていますが、残すんなら僕は正面の方だと思いますね。

スタンドを改修していく方法も色々あると思いますけども、解体ということについては、復興のシンボルである建物、あるいは場所、こういうものを六十数年、色々な人たちの思い出が詰まっていますし、色々な人たちの協力で今日までこの施設が活用されてきたことを考えれば、これは広島の大事なDNAだと

思いますから、そういう意味では形は変わっても何らかの形で、全部の解体と  
いうことでなくて、残しながら皆さんの使ってきた遺伝子を残しながら次に、  
元気な街になるための活用策を考えていかなきゃいけない、という風に思いま  
すので、解体ということに関してはちょっと強い抵抗を感じますね。

### 三宅市議

まず、そもそもご質問が「旧市民球場を解体しなくちゃいけないのか？」とい  
うご質問なんですけれども、これは危険度、耐震ということでは壊さない  
といけません。

これは間違いない話なんです。

っていうのは、私は議員になる前はスポーツ屋でしたので、スポーツ関連の仕  
事をしておりましたから、当然、旧市民球場に出入りすることもありましたし、  
ベンチを直したりという仕事もやっておりました。

実質的にその広島市民球場事務所というのが、広島市の出先機関として今の  
旧球場の中にはあるんですけれども、その所長さんや次長さんと当然、懇意に  
させていただく中で、実はレフトスタンド側は3 c mほど今、もうずれている  
んですね、あの建物。

ずってるんですよ、土地が。

これは何でずれたかということですね、実は広島市は2階の席をつけましたね、  
上に。

で、元々上の基礎部分がああ重さに耐え得るかどうかは、当然、その当時は大  
丈夫だろうということでしたんですけれども、もう既に重みに耐えてないん  
ですよ。

つまり、どんどん沈んでくんです、レフトスタンド側がね。

ですから、もし耐震診断をするとですね、まず間違いなく倒壊の恐れがありま  
すので、早急にですね、耐震補強をするか、撤去するか、どちらかにしてくれ、  
というふうになるのは当然だろうと。

安全性というのが一番重要ですから、そもそも壊す必要があるのか、ないのか  
と言われれば、壊さないと危険なんです。

というのが、恐らく今の状況だろうと思います。

### 石橋

そこでなんですけども、広島東洋カープが新球場に移転しまして、現在、街は  
中心部の空洞化が進んでいるという中で、あの場所が重要な意味合いを持って  
くる訳ですが、そこで実際に現場で、カープが移転した後に、どういった状況

になったか、また現場の声も聞きたいと思うんですけども、市民球場の前で喫茶店を経営されております中川さんにお話を伺いたいと思うんですが、マスターはカープが移転してからというもの、どうなんでしょう、あの地域では現場の声というのは？

喫茶店マリーナ店長・中川様

正直申し上げまして、かなりの痛手です。  
今までですと、野球があるシーズンは夕方にもう1度ランチタイムが訪れるというふうな、そういう感じで、年間の売り上げのうちの、私どもの場合、喫茶店というか飲食店の場合ですと、年間の売り上げを10とすると、そのうちの3であり、4でありといったところが今年は減るであろうというふうな予測を立てております。

石橋

中心部の方からたくさんお越しいただいておりますが、現場の声をお伺いできればと思うんですが、よろしいでしょうか？

市民球場前セブンイレブン店長・松枝様

今、中川さんがおっしゃられましたように、プロ野球がなくなって今現在高校野球などで使用されておりますのである程度の売り上げはあるんですけども、やはり3割は落ちるんじゃないかと言うふうには見ております。  
現実に4月は高校野球がなくて一般的な一般使用だけだったものですから、プロ野球の関係はもろにきまして、結構な売り上げの落ち込みはありました。  
豊島さんもおっしゃいましたけども、市の方の跡地のことに関して私が考えていたのは、公園にして折鶴館、それを作るっていうふうな形で進んでるっていうふうに聞いていたものですから、それだとちょっと集客は無理なんじゃないかなって、現実に150万の集客っていうこと言われていたと思うんですけども、実際にそれを可能にするような案っていうのが出てこないんじゃないかなという気がするんで、とりあえず、イメージパースを出して、その件を話していくって言われたんですが、もうすでにそこでちょっと言うこととやるのが違うんじゃないかなっていう気がするんです、市の行政の方が。  
そこら辺がちょっと気になったものですから、どういうふうな話になってるのかなと思って、ちょっと伺って話を聞かせていただいております。

市民球場パーキング・岸本社長

私どもの方は、紙屋町に大きくそびえておりますショッピングセンターの大きな業績に相当影響して参ります。

今、松枝さんもおっしゃったとおり、市民球場の試合の開催、だいたい4月から9月後半だろうと思いますが、それとプラスして、ショッピングセンターのこの数年の業績不振による我々の営業そのものが、相当影響してきております。ただし、1つお聞きしたいのは、広島市の方たちがですね、市民球場がここから動く前と動いた後の動向をですね、こういったことがメディア等で発表されない。

特に広島駅の方は、さんざん賑わっておるとい嬉しいことを報道されますが、それに対して今の市民球場前、大手町、紙屋町周辺がどれだけ閑散としてきているか、ということを取り上げていただきたいというふうに思います。

それから2番目におっしゃられました先生がですね、あれは国の土地だからということをおっしゃいましたが、我々もそれはよく理解しておりますが、じゃあ、これを全部取り壊さずに国か何かが全部作ってもいいということをお墨付きをもらうことはできないのか、と。

それも疑問に感じます。

で、取り壊さなければ、この場合は改装して、今、AFHさんがおっしゃっているようなものができるのか、そういうこともわかりません。

で、こういうものに参加して経緯がわかりました。

ほとんどの市民のみなさまはおわかりにならないのが現実だと思います。

ですから何とかなるだろうと。

我々の周りの方にも、何とかなるだろう、やってくれるだろう、と言われる方がほとんどだと思うんです。

それで果たして今考えられているものができるのかどうかと。

まず、こういう色んなプレゼンテーションも良いと思うんですが、それよりもまず秋葉市長が…秋葉市長がおっしゃられたのは、年間100万以上是集めるとい施設を作るといことを約束されたわけですから、国の土地だからどうだとか、こうだとかいことは論外だと思うんですね。

当初おっしゃられていた広島市民球場を東に移されたと同時に、やはり100万人という目標は集めてもらいたい。

そのように思っておる訳です。

石橋

岸本社長から、どこにネックがあるのか、また私どもも机上の空論にならない

ように努力はしてるんですが、実現する可能性があるのか否かという辺りを先生方に伺ってみたいんですけど、いかがでしょうか？

#### 八軒市議

今、岸本社長さんのお話を頂戴しましたように、実現性の問題は我々議員としても困っているのが本音です。

個人的な意見ですけども。

さきほど豊島議員は「パースを出させたら」とおっしゃっていましたが、私ももしましたら、市長が折鶴館を作るというご意見をいただいたときに、地元やら皆さんからのご意見を聞くと、少なくとも私がお聞きする限りでは「そんなものはいらん」という方がほとんどなんですね。

だからそのことを市の担当者の方にお伝えするんですけども、市は「これはいる」という判断でやります。

実はこの市の行政側と議会のすれ違いがあって、早く言えば問題も起こっていると私は思っています。

ただ、さきほど予算の問題等も出ておまして、さきほどどなたかが公募債なども作られたらいかがかのご提案をいただいたんですが、実はどのようなものを作るのか、それが広島市にとって必要なのかというようなのがない限りは、たとえば公募債であっても借金ですから、いつかの時点では返済していかなくちゃいけないんですね。

ですから、広島市の市民にとって本当に必要で公募するべきものなのか、その予算立てをするべきものなのかというところを我々は精査していかなければいけないと思っています。

そういう意味でさきほども申し上げましたように、白紙の状態で皆さまのご意見をお聞かせいただきたいと言ったのは、そういうことです。

例えばの話ですね、身近な話なんですけど、私どもの近くの公園に落葉樹がございまして、近所の方が木を切ってくれとおっしゃられて、私どもの方でお困りなら切りに行きましょうと区役所に話をしに行きましたら、区役所の方が切ってもらっちゃ困ると。

実は、その申し出をされた隣の家の方が、その木は夏に日陰になるから絶対切ってもらっちゃ困る、と笑い話とも取れないような話があります。

私どもは幅広く市民の皆さまのご意見を聞いて、そして何が広島市にとって一番大事か慎重に議論しなくちゃいけないだろうと思ってます。

ですから、皆さまがおっしゃるようにサッカースタジアムが広島市にとって本当にいるのかどうかというのは正直申し上げますと、私にとっては判断のつき

かねるところですので、皆様のご意見をしっかりお聞きさせていただいて、同盟の議員とともに議論して参りたいというふうに考えております。

### 豊島市議

周辺商店の方々にとっては本当に大規模、大きいと、そう思うんですけれども、やはり私自身がこの問題をとらえているのは、広島市全域 117 万広島市民にとって、中心市街地の都市計画ビジョンをいかに醸成・改良していくのか、私は大きなテーマとしてとらえています。

確かに秋葉さんが 150 万人集客をすると言った時点で私は建設委員会の委員長をさせていただいていたんで言ったのは、市民球場は集客施設として何百万人と言っても良いんですけども、公園と公言されておるからには、公園に集客という言葉はおかしくないですか？と。

公園というのは費用対効果を生むという直接的なものではございませんから、集客じゃないと。

ていう部分で申し上げて、その時点で広島市自体がズレがあるんですね。

だから私はずっと感じていました。

それは多分、周辺地域の方々に対するアピールなんだろうなと。

そういう言葉尻に私は結構冷徹で、冷徹に見ていたんですけども、私自身はその都市の平和公園から中央公園、広島城までにおける回遊性の確保であったり、賑わいが常態化していく、それに対する意見が私の重心なんですけども、サッカー専用スタジアムについて私自身は、サッカーファンだからじゃないんですけども、私は必要だと思っています。

これはやっぱり、広島にはトップ3、トップ5、広響までいれたら色々ありますけども、広島市はスポーツ。

スポーツってのは、平和じゃなきゃスポーツできないんですね。世界で競技人口が多いのはサッカーでございます。

そのサッカーを通じて世界平和というものを祈念して実現していくというのは全く違和感のないことである。

と、同時に広島旧市民球場に関しては、広島市は被爆都市といわれていますけれども、私はネガティブなイメージではなくて、世界一の復興都市としての広島市ということを発信していきたい、その中での旧市民球場のあり方というものが確かに重要だと思うんです。

ここが今、一概に、個人の意見としては、さきほどはなくしたほうが良いとか言いましたけども、矛盾はあるんですけども、矛盾の中で葛藤しているのが市民だと思うんです。

答えが見出せない。

そうした中で、さっきの話になるんですけど、イメージパースは絶対に作らせる必要があって、そこに基づいて議論をし、そしてそこからコンセンサスを得て、その対案。

その対案も広島市が今、せこい真似じゃないんですけど、市長の考えを言わないんです。

全て「選考委員会が」「選考委員会が」「選考委員会が」。

あらま欲しき選考委員会の意見で、私たち市民が左右されている。

議員が左右されているんですけども、果たしてそれが民意かと言ったら間違いと違う。

そうしたことに対する、あらま欲しき選考委員会が打ち立てている。

また広島市が共有するイメージを私たち自身がまず知ることによって、そこに対して建設的に私たちが意見を述べていく機会を設けていかなければ、今、なにをやっても利用されるだけです。

そして、否決して、否決していく間に広島市は周到に準備をしていきます。

一刻も早く議論をしていかなければいけない、というのが今いちばん大事なことというのは申し伝えさせていただきたいと思います。

### 三宅市議

直接的な答えをしていないから、直接的な答えを今から言います。

ネックになっているのは、秋葉市長です。

(会場から拍手)

間違いありませんから。

ただしですね、秋葉市長は選挙で選ばれた市長ですから、あの方を多く応援されたわけですよ。

広島市民の皆さんが。

その選ばれた方が、やってらっしゃることですから、あの方は最大権力者であることを、我々議会は当然わかってるんです。

秋葉市長の上手なところは、豊島議員が言われましたけども、自分がやったと言わないようにするんです。

つまりそれは、選考委員会という名を借りた自分の意見なんですけれども、そのときの理由は、広島市は今、財政が厳しくてお金がないです、と。

金も出さんののに文句を、いわゆる善意の第三者である民間事業者が出してきた意見を、何で我々が文句言えるんですかという立場をとるわけですよ。

ですから、ネックとなっているのは、それは100%市長なんです。

市長が、いやいやフットボールパークいいね、これにしようよと言えば、そうなるんですよ。

ただ150万の集客を言っている事情が、ここにはもう1つあります。

それは広島市が50%の出資金をもっている地下街開発、つまりシャレオの存在があるからです。

シャレオは今、年次で債務超過に陥って、かなり年月が経って、その償還もしていますけども、あの旧広島市民球場に150万規模の集客を得ない限り、あのシャレオの地下街開発はいずれ破綻するのは目に見えているからなんです。つまり、自分たちで作ったものを守るためにもあそこに150万の人を集めんにゃいけないんですよ、広島市は。

そのために広場にするかどうかというのを一生懸命言ってるんですね。ただ、その広場を作るのも僕らは金を出せませんから文句は言えませんが、そういうふうになってらっしゃるわけです。

じゃあ、それはどうすればいいのかと。

たとえば、さきほど言われました商工会議所の移転、太田会頭になってから移るって話になったって言う話ですね、今現在、商工会議所の移転問題は宙に浮いたままです。

あれは商工会議所内で話をしたというよりも、太田会頭がひとりで言っているんです。

つまり、それらの部会ができあがって、この場所から移転しましょうとか云々かんぬん話し合った形跡はありません。

しかも、移転するに至っても相当良い場所に移りたいと思いますから、その資金を商工会議所としてどうするのか、それを銀行の返済でできるのか、多分、試算してらっしゃるはずですよ。

もう1こ、ここPL教団がありますね。

PL教団は100%、今の段階では移りません。

それはなぜならば、PL教団の建っているあの土地というのはですね、PL教団さんが訴訟で勝ち取った土地なんですよ。

つまり、裁判で勝ち得た土地をですね、出て行ってくれというわけに、どうやって言うんだって言う話なんですよ。

だから、広場にしようと、フットボールパークにしようと、PL教団をののかすというのは至難の業なんです。

そういうこともみなさんには知っていただきたかったんですね、今日私が来たのは。

ですから、今ネックになっているのは秋葉さん。

次にネックになるのはPL教団。

いっぱいネックがあるんです。

だからそれを1こ1こ下がらせていく作業をどういうふうに行っているのかなってというのが、今の議会の中での僕らの立場じゃないかな、とそうのように思っています。

#### 参加者

自分は3年前に広島に仕事がしたくてやってきまして、今、学習塾を運営させていただいています。

教え子にも塾に署名の紙が来て色々話を聞いたんですけども、すっごい話の腰を折るような質問かもしれませんけど、一経営者の立場としてもそうなんですけど、シャレオ、初めて広島に来たとき、何でこんなに人がいないんだ、自分は福岡から来たんで、はあ？ みたいな感じですよ。100万都市やろ？ みたいなところで。

まあ、今日たまたま他にイベントあるんじゃない？ みたいな感じでやってたんですけど、いつ来てもシャレオはすっからかん。

ましてや、今はとんでもないシャッター通り手前みたいな感じですよ。

開くのも遅いですよ、お店。

10時くらいにも開いてませんよね。

11時ですよ、嘘お！ と。

新天地とか、全然違うのになあ、と。

素朴な疑問です。

広島市には、よくわかんない土地が3つありますね。

何で使い道がわかんないのに、マツダスタジアムができたのか。

何のために移転したのか、もう1度聞きたいっていうのが、1つ。

西飛行場もそうだし、広島大学の跡地？

塾で非常勤で広島大学の人を雇おうかなと思ったら、広島大学が広島市になくて、けっこうたいへんだったんですけど、最初。

びっくりしまして。

そんなおかしいところ。

何で移転したのかが、1つ。

それと、広島市民球場跡地なんです。

でも、そこに集う人間は、まず広島県民がいると思うし、全国、あるいは外国の方々が来られるんですよ。

何で、僕の3年間いた考え、伝わってこない、僕の勉強不足かもしれませんが、

秋葉市長さん、ああ、そういう人なんだって。

ぶっちゃけ、本当は知ってましたけど、もうちょっと周りの県の自治体の方とか、あるいはそのトップの県知事さん、県と市が仲悪いのかな、とちょっと思ったりしてるんです。

やっぱり悪いんですかね。

何とかならないんですかね、それ？

こどもたちはですね、何であんな山奥に、お店がないから何も買えないって言うんですね。

ホームセンターはいっぱいありますけど。

でもそこ、駐車場使ってるし。

カープの大ファンなんですけど、昨日もオールスター行って。

カープよりもサンフレッチェの方が強いんじゃないかって思うんですよ、今。なのに、スポーツ振興と平和、平和の象徴って、ハトもそうだし、折鶴かもしれませんけど、スポーツくるんじゃないかなって、僕思うんですよ。

何で移転しちゃったのか、何がしくてそうしたのかというのと。

あともう1つは県全体で一体として、県知事さんを始め、県議会議員さん、他の地区の市議会議員の皆さんで、何かそういうことを今からできることはないのか、あるいはそういう気配はあるのかっていうのを、自分はすごく聞いてみたいなあって。

もう県で盛り上げるしかないんじゃないんですかね？

まず国の土地なんでしょ？

だから県が、県知事が国に進言して初めて通るような、今の縦行政なんで、やっぱりそこに持っていこうと考えないと。

A F Hさんの活動もすごく良いなあって思って。

僕はカープファンなんで広島に来ただけなんですよ。

宮崎の日南キャンプで、山本浩二さんと同じ誕生日で、それだけなんですよ。すごい街で、こんなに良い球団、ハンドボールもあるし、女子ホッケーも強いし、何かもったいないことしてんなあと思って、すごい市議会議員のみなさんとか、他の県議会の方とか、よくわかんないんですけど、すごく頑張ってもらいたいし、一体化して欲しい。

ホント、ALL FOR HIROSHIMA 議員みたいなね。

(会場、拍手)

やってもらいたいです。

リコールするならリコールするで良いですよ。

今、こんな立場ですけど。

## 豊島市議

広島県と広島市が仲が悪いというのは、よく揶揄（やゆ）されるんですが、政令指定都市、横浜、川崎、京都、神戸、色々ありますけども、どの都市も仲が悪いんです。

これはなぜかという、政令指定都市っていうのはかなりの権限が政令指定都市に移譲されています。

要するに、普通の廿日市とか中核市レベルであれば県を通して、さきほどおっしゃったように県へ物申さなきゃいけないんですけど、政令市は直接国に物申せるんですね。

要するに、県の中に県がある。

てなことで、広島県からすれば、政令市さんはお金持っとるんじゃない、あんたんとこで好きにしてくださいよ、と。

広島市から言えば、そういうてもあんた広島市いうても広島県民税なんかも払っとる。

消費税入れたらだいたい1千億円ぐらい払っておるんですね。

そうした中でやりとりが喧々諤々となってしまうのが、まあ1つございます。

と同時に、これはアピールでも何でもありませんけど、オール議員というのもございましたけども、今私たちが30代で、三宅議員も30代なんですけど、広島圏域の30代の議員が集ってですね、広島若手県議会議員の会…広島県若手地方議員の会W i L L（ウィル）という活動を始めておまして、やっぱりおっしゃるように声を1つにしてやってかなきゃいけない。

と申しますのも、広島市の一挙手一投足って言うのは近隣都市にもものすごく影響を及ぼします。

そのことを十分意識した活動をしていかなければというふうに思っております。

あと質問で、よくわからない土地があるということですけども、私は当時議員じゃなかったんで、間違いがあったら修正していただきたいんですけども、まず広島大学の移転の問題。

これは私も普通に考えておかしいんじゃないかと思っております。

しかし、周辺地域の方に直接お伺いしたときに、これは正しいか誤っているかわかりませんが、当時、中核運動っていうんですかね、学生運動が盛んであって、広島大学周辺が異常に荒れていた、と。

ということで、地域の方々が逆に言ったら、どこかよそに行ってくれんか、という動きをされた方もいらっしゃるみたいで。

そういったことが発端で、じゃあ東広島市という候補地が上がり、また東広島

市も当時、文教都市としての名乗りを上げておりましたので、そういうふうなことで移ったと聞いております。

しかし、移ったときには学生運動は収まっていた、と。

西飛行場の問題は、すみません、誰か県会議員の方に聞いていただいたら…わからない僕も。

#### 母谷市議

政令市と県の関係と言うのは、今、豊島議員が言ったように広島に限らずですけども、悪いですね。

あまり良くないことですけども。

それは政令市になるまでは県の傘下にいたわけですよ政令市も。

はいはいと言って言うことを聞いていたのに、政令市になった途端に同格ですから、県と。

そういう意味で、この前までおとなしかつたのに生意気になりやがってという思いがあるんだと思います、県の方がですね。

そこへもってきて広島の場合に更に難しいのは、県の方は自民党出身の方が知事になっておられます。

今回、引退されますが。

広島市の場合は、社会党出身の市長さんですから、どうしても肌が合わないというか、そういう同じ水のようにも飲める水と飲めない水がお互いにあるというような感じがあるんじゃないでしょうかね。

そういった中に難しさがあって、さきほども話が前後して申し訳ないですが、議会と行政の関係でいけばネックになってるのは誰かということ三宅さんが「それは秋葉さんです」というふうにはっきり言いましたから、その通りなんですけども、行政と議会の関係というものはですね、行政に提案権があるんです。

議会の方は議決権があるんですね。

そういう関係の中ですから、議会の方に提案権があればどんどん議会の中で数を作ってそういうことができるんですけども、提案をしたものに対する予算はどうか、この条例はどうかというものに対する議決権しか許されていないものですから、議会と行政が法律でバランスを取っている形なんです、今のところね。

そういうところに良いところもあれば難しさもあって、おるんですけども。

旧市民球場跡地の利用の問題に関しては、何度も言いますように、市民のみなさんとの、何にしたら市民のみなさんが喜ぶかというのは、少なくとも市長さ

んが言っているような折鶴館を中心とした広場や公園ではダメよという判断を議会がしたってことですね。

そういう意味で調査費を削除したわけです。

この秋にまたでてくるかもしれません。

市長寄りの豊島さんの話では。

(会場笑い)

でてきたら、また反対しますけど、私は。

まだ全然できてないよ、ということ。

そこらあたりが難しいところですが、少しは空気がわかっていますね。

野球の、社会人野球も高校野球も少年野球の団体みなさんも、もう少し存続してくれ、きちんと決まるまでは使わせてくれということもありますから、拙速に9月になったらすぐ壊さなきゃいけない理由は何もないと思います。

さきほど三宅さんが言われたのは、耐震補強上たいへん問題があるので壊さなきゃいけないのじゃという意見がありました。私は残してほしいと言ったら、できる限り残してほしい。

耐震補強をして使えるものにして、スタンドは使えるものにして、建物も使える、施設も改修して残してほしいと言ったんであって、全部を残すなんて、跡地利用なんです。全部を残すというのはあり得ないんですけども、決まるまでは今のままでいいでしょと、まだ。

少なくとも危ないところは使いませんよ、もちろん。

しかし、今まで使えたんですから、今すぐ潰れる、壊れるわけじゃないです。そういう意味でできる限り残してほしいということですから、これを大事にしたいという思い、これまでの経緯を含めて、そういうことを思っていますね。

#### 豊島市議

(挙手するが、八軒市議がお願いしますと手を挙げる。)

#### 八軒市議

3つの土地の問題ですけども。

これは私どもも先輩議員にたくさん聞くんですけども、なかなか本当のことを教えてくれないんです。

で、実際問題わかりにくいこともたくさんあると思いますが、この問題については現状として広島市が保有している限りは、言ったからといって過去のことを言ってもしょうがないなあ。我々は思って、前向きにどう活用するかという話をしています。

それともう1点。

豊島議員が県とか県会議員とか、近隣の市議会議員が仲良くしていると話がでておりますけども、それ以外に若手以外にも我々のそばにも県会議員の先生とか、廿日市やそれから近隣の府中町の町会議員の先生方も非常に応援していただいて、折鶴の問題なんかにしても、反対しろとかいうご意見もいただいています。

ただ、さきほど申し上げましたように、決定権は最後まで秋葉市長にあります。市議会で反対して言うことをきかんものは、県議会の先生が言っても、市民のみなさんが一般に言うのと変わらないんです、影響力が。

ですから、県会の先生が言ったからどうにかなるという問題じゃなくてですね、やはりこれはみなさんが問題と思われるんなら、AFHさんがやっておられるような14,000名の署名を集められたというこの地道な努力が、積み重ねが大事なんじゃないかと思っています。

多くの市民のみなさんの声が大きくなればなるほど、市長としてもそれに無視をするわけにはいかなくなるんじゃないかと思っています。

議員が言ってるのは、お前個人が言ってるんだろと言われればおしまいですけど、そういうみなさんの声を背景にすれば、我々としても、もっと拙速な議論は避けて慎重に議論しろというような発言はできると思いますので、そのへんだけはコメントさせていただきたいと思います。

## 豊島市議

市長寄りとかなんとかは解せない考え方ですけども、議会というのはオール野党でなければならぬわけですから、与党も野党もくそもないんですけども、今までのみなさんの議論の中で、だいたいこれだけ残すとか、だいたいどれだけ残せばいいとかの議員からの発言がありますけども、こんな抽象的な議論をしていても何にも埒明かないんですよ。

イメージパースを作ることが、市長寄りだと言われればそれまでなんですが、そんなことじゃなくて、具体論で具体的にどういったものを出してきて、そこから建設的に具体的な議論をしていく。

確かに議会というのは提案権というのはありませんけれども、みなさんが署名活動されてたり、そういった声を私たちが代弁することは十分に議会のできるわけですから、そこでも抽象的な議論はナンセンスなんですね。

そういった意味でもイメージパースを作らせるってことは、市長に対する説明責任を果たさせるってわけですからそこから逃げようがないんです。

現状で折鶴ホールなんていない、そういうことをごねていかなければ、今は

作ろうかなっていうイメージ案ですから計画案出してますけど、実際問題彼らに形にさせるってこと、逃がさないっていうこと、これが一番大事であるというふうに思ってます。

建設的にまず具体的な議論、抽象論、感情論をやっているヒマはもうありません。

三宅市議

時間がいっぱいかかってますよね。

やばいですよね。

石橋

大丈夫ですよ。

三宅市議

前に座ると議員っていう種族はですね、あまり本当のことは言わなくなるので、僕が代わりに言います。

何でかって、僕は田舎の議員ですから。

まず、何で今のマツダスタジアムに移ったか明確にお答えしますと、広島市の都合です。

何故ならば、あのJRの貨物ヤード跡地という所に今マツダスタジアムが行ってますけども、あのJR貨物ヤード跡地、元々、国鉄の土地だったんですね。つまり国鉄の土地ということは国の土地なんですよ。

それを秋葉市長の前の市長さんが買っちゃったんですよ。

高っいお金で。

当時の広島銀行さんからお金を借りて。

そして、その買った土地を土地開発公社という第3セクターがあるんですけども、そこで買わせとったんですよ。

将来何かに使うからって。

それがそのまま塩漬けになったんですよ。

そうすると1回先行所得を公社にさせましたら、毎年金利だけは払わにゃいかんのですよ。

年間60億ぐらい。

毎年、毎年。

それを10年ぐらい払ってきたんですね。

もう財政も厳しいし、金利も負担したくない。

そしたらあそこを何か作っちゃえば、国から補助金も出るし、その土地ももうこれ以上金利がかからなくなるわけです。

そして、あそこに移そうやないかという話になったわけです。

当時の商工会議所の会頭であった宇田さん。

宇田会頭さんはやめてくれと。

何であんな所に移さなきゃいけないのかと。

真剣に言われました。

とにかくあそこに移されたら、商工会議所の横の球場から人が減るわけですから、今のみなさんの状況は想像できますよね、誰でも。

だから宇田さんはずっと反対したんです。

そのときに宇田さんが秋葉市長から取った言質が「いやいや宇田さん、僕が必ずこの場所を150万の集客できる施設を作るから」と言ったから、宇田さんは「よっしゃわかった。それだったら僕が新球場を建てるために経済界にお願いして本当に歩いてあげるよ」と言って、あの人、一生懸命歩いて、色んな経済界からの方からお金をいただいたんですよ。

その金額や18億以上です。

それによって今のマツダスタジアムはなってるんですね。

市民のみなさんや県民や色んな方からの樽募金とその経済界からの18億で、今じゃ立派に新幹線のところから得点が表示されるようなものまで作れちゃったわけですね。

ですから、さきほどのご質問で、何で移ったのか、と。

広島市の都合なんですよ。

今の跡地をどうするかっていうのも、広島市の都合なんですよ。

それをみなさんのお話で、広島市の都合にしたいくないですとおっしゃられるのであれば、みんなの力を結集するしかないです。

それは一人一人はすごく小さな力だけれども、それをどういうふうに広げていくかっていうことを考えなきゃいけないはずなんです。

さきほど八軒議員も言いましたように、今の議会制度の中では圧倒的な権力者は市長にあるんです。

それを違うよって言うためには、議員もそうですし、みなさんの力も借りなきゃいけない。

具体的にどういう活動ができますかっていう話になったときには、豊島議員が言っているパースを作らせなきゃいけない、と。

市の方に無理矢理作らせてきて、それを元に「お前言ったじゃないか」と言わなきゃいけないんですよ、議会でもね。

お前らがそうするって言ったじゃないかと言いたいんだけど、作らないからそうするって言ったじゃないかって言えないわけですよ、今は。

だから具体的なものを出してもらおうと、というふうになっているんです。で、今のこの跡地をどういうふうにしていくか、フットボールパークとか広場とか色んな意見がある中で、私が考える唯一の方策は広島資産で考えてみましょう、と。

カープもサンフレッチェもスポーツは資産ですよ。

これは広島市が持っているポテンシャルとしての資産です。

たとえば原子爆弾が世界で初めて投下された、それは世界平和という部分のポテンシャルなんですよ。

それらのポテンシャルを合わせた形でこの跡地利用を考えていくっていう案であればですね、今の市長さんが折鶴にこだわっていますから、すごく。

なぜならば、広島市のホームページの市長日記を見てください。

折鶴だけです、原稿用紙5、6枚ぐらい、折鶴のことがずーっと書いてありますから。

他の話題はほとんどありませんよ。

よく読んでいただいたらこの人が、いかに折鶴を大事にしてるかっていうのがよくわかると思うんですよ。

その考え方をやめさせる方法は、こういう活動を通じてみなさんの意見をどんどん市長に直接ね、市長だって目安箱という名の市長に直接メールが送れるようになったんですから。

もうガンガンですね、迷惑メールはだめですけど、見るのがイヤっていうぐらい送ってあげるとかですね。

あるいはオフィスアワーっていうのがあって、市長と直接話せる時間があります。

あの人、たくさん海外行きますからいないことが多いですけど、ある程度あるわけですよ。

そこに行って、いやいや市長さん、そういうふうにやってください、こういうふうにやってください、言えるんですよ。

言っても自分が判断しないとやれませんが、イヤというほどやるとですね、人間変わるかもしれない。

それに期待しよう、ということで私の話は終わります。

#### 参加者

9月解体ですか、早くて9月に…

三宅市議

そりゃないですよ。

参加者

ないですか。

三宅市議

8月の末までは使わせませす。

ちょっと延びましたから。

参加者

たとえばあと1年8ヶ月延びるとかっていうのはないんですか？

三宅市議

選挙まで！

1年8ヶ月まで延ばしていくと…

母谷市議

それをするためには費用がかかりますから。

議会に予算案が提案されるんです。

そうしたときに、まだ何も決まってないのに、そんなもの壊すことないでしょ、もうちょっと使うという意見もあるし、残せという意見もあるからと言ったら、否決すれば良いんですよ。

そしたら自然と延びますよね。

参加者

昔の話？

金利60億？

三宅市議

ああ、そうですね。

母谷市議

60億が出たら言わんにゃいけないのですが、60億というのは間違っています、数字が。

毎年かかっているのは2億6千万です。

2億6千万で、最初の5年間は国が補助していますんで1円も負担してないんです、広島市は。

だけど、6年目からは自前で金利を負担していかなきゃいけませんから、元本の償還も含めてですよ、もちろん。

#### 石橋

色々話に上りましたけれども、我々AFHが1つ活動させていただいているのが、我々は本当にサッカー専用スタジアムをうたっておりますけれども、もちろん市政ですよ、今現行の市長ないし市政への反対勢力ではなく、我々は市の都市活性化局に足を運んで、お互いみんなで手を合わせて、みんなで良いものを作りましょうという活動で、継続して活動させていただいておりますし、さきほどの話にもありましたように、そこで借金がかさむのでふたをしたと、元々市民球場跡地、現の旧市民球場にあそこに具体的なコンセプトや夢や、構想があって今のようなコンペが行われたものではないんです。

だから明確なコンセプトがあり、市民球場跡地をこうしようというコンセプトがあってのコンペであれば、ここまで混迷を招かなかったんですけども、そういう具体的な提示、また将来的なビジョンがないままにコンペを行ってしまいましたので、いくら400集まった中で選んでも、このような混迷を招いている実状が1つあるというのと、市長さんの話で、とりあえず選考委員会がこのように話しているので、そちらに従いたいと思う。

市民球場跡地に関しましたら、7人の選考委員会、緑化ですとか平和研究など東京の方を中心に7人の方が選考委員会を設けましたけれども、その選考委員会の方々が最終的な市へ提出するまでにも何回か事業計画案及び選考委員会の会議が持たれておりまして、その議事録が我々の手元、また目を通すことができるんですが、その委員の方ですら、簡単に意見をいくつかご紹介しますと、折鶴祈念堂は記念碑が真ん中にある意味公園としては使いづらいのではないかと、折鶴祈念堂については市民の好き嫌いもある。

また、外から広島を見た場合、平和ということと最初折鶴祈念堂が良いと思ってはいたが、しかしそういう機能は今の平和記念公園でほぼ満ち足りていると。

あえてまたここに平和記念公園を作る必要があるのかという考えを持つようになった、と委員自体が言われているんですね。

選考委員の委員長も折鶴祈念堂は公園として一体となった空間という意味では良い。

しかし、平和記念公園が2つもいないというのが正直地元の意識ではないかと。

最終的に同選考委員会が市に平成19年、ちょうど2年前の8月になりますけども、当時は「水な都（みなと）」というビオトープのような自然を縮小したものを球場跡地に残す、また折鶴祈念堂の計画を推し進める条件として、周辺商業地と一体となって賑わいを創出できるようNTT、基町クレド、そごう、シャレオ、本通り商店街などと連携して具体的な集客プログラムを作成し取り組むこと、と委員会もそのように要望しているんですが、その本通り商店街であったり、基町クレドなどが広島市民球場跡地利用検討協議会発起人名簿ということで、クレドの支配人であったり、そごう、デオデオの店長であったりの方々が、このままではやめてくれと声を上げておりますので、まさに我々は本当に対抗勢力でもなければ、純粋に民主主義なり、市民の意見が反映されているのだろうかということで、サッカー専用球技場に固執しているわけではなければ、もちろん、それでできる賑わいが生み出せるのではないかと考えているんですが、そういうかたちで純粋に活動させていただいている次第であるんだ、と。

さきほど豊島先生の話にも「平和であるからスポーツで、サッカーなどを通じて元気を発信できる」という話がありましたけれども、下山さんはサッカー協会で長年携わり、サッカーに造詣が深くいらっしゃいますので、ちょっと意見をいただきたいと思うんですけど。

#### 大竹市サッカー協会・下山理事

私、所属団体は大竹市なんです。

ですから市民税は払ってないんですが、ここに座らせていただいておりますが。

県協会の一員でもありますし、体協でもあります。

昨年秋にAFHの活動というのを耳にしまして、今年に入りましてから私にできることがあればという意識で今日も参加させていただきました。

それで、地方から、私は生まれは関東なんですけど育ちは四国なんです。

広島に来てから50年近くなるんですけど、昔は四国から見ますと広島というところはそびえ立っておりました。

それが何十年か間にだんだん地盤沈下したのか、周囲が上がってきたのかわかりませんが、福岡があり、京阪神があり、と。

それから私はサッカーが大好きなんですけど、全国、仕事の関係でほとんどのスタジアム、近くへ行けば見るようにチャンスがありましたので、その方から見ますと、中四国には国際試合ができるところがないんです。

私は昭和 17 年生まれなんですけど、東京オリンピックの計画、ワールドカップ構想等が先にあると、そういうのを利用しまして、中四国に 1 ヶ所ぐらい国際試合ができるところが欲しいと、それはもうこの基町しかないとは私は地方から考えて見て思っております。

(会場、拍手)

集客という問題もありますけど。

それから広島は平和ということもありますけど、東京とか大阪でなくて、外国に行きますと、広島というとピースですね。

そういうことで、サッカーを中心にしても、ホッケーもラグビーも同じ広さでできるわけですから、私の勝手な夢みたいなことなんですけど、北朝鮮と韓国と日本代表、パレスチナとイスラエルと日本代表と、ホッケーで言いますとインドとパキスタンと日本、そういうことを広島で発信すれば可能じゃなかろうかと、ただし場所がない。

その場所にこの基町はなり得るんじゃないかと。

今、青写真が色々ありまして、まだ第 1 段階じゃないかなと。

ロンドンオリンピックのあるスタジアムの例もあるようですから、将来的にはやはり観客が雨に濡れないという程度の屋根ぐらいは付けて、そうすると国際試合も大分まで飛んでいかなくて広島へ来るんじゃないかと。

そういう観点が、私は地方で年寄りなんですけど、今日の色々な障害・問題、ハードルが高いようですけど、1 歩 1 歩みなさんでできることをやっていただきたい。

議員さんもおられるし、みなさんも熱心に話しておられるんで、私は地方の方からできることを、また地方の方で何かありましたら協力させていただきたいとそのように思っております。

以上です。

石橋

ありがとうございます。

伊藤アツシ

僕はバブルの頃にこどもで、その後に不況になっていく中で青年時代を過ごしていて、何でビッグアーチがあそこにできたとか、そういった思いからこういった活動をしているんですけど、広島の市民が広島市に求めているのは、良い案を作ってくれというんじゃなくて、良い案が選ばれる仕組みを作ってくれというのを期待していると思います。

そういう意味では、何で僕らも手弁当でお金もなしに一生懸命パスを作って、あのコンペに参加した人間も企業も全部、お金を自分たちで負担して参加していると思うんですが、今更広島市が予算がつかないとパスを出せないというのが既にもうそういった能力が無いといったことなのではないかと、ふと思います。

また構造の話ですけど、レフトスタンドが沈むというのは増築した後の報告書に確かにあって、ただし構造的にはセンターとレフトとライトで3つに切れているので、じゃあレフトはあきらめて残すといったことは技術的に可能です。テクニカルな議論というのは、そういった報告書があればみんなで考えるもので、広島市や議会がやってほしいのは、そういった良い案がどんどん出てくる仕組みを作ってほしいと思います。

そういった意味で、たとえばこの活動もお金はないけど、新しい100億の専用スタジアムを作ってくれと言っているのではなくて、一生懸命スポンサーを探してきて、今は明かせないですけど、責任あるプランを出していこうと。

僕が思うのは、ビッグアーチをあそこに作った人たちは今、どういう責任を取ろうかと、どこにいるんだというのを、ぶつきたいけどぶつけられない。

で、民主主義なんだから最後は市民が責任を取れば良くて、あのときに広島市民があそこにスタジアムを作るっていうのを選択したのであれば納得できるんですけども、そういうことはできないといった不満があります。

このコンペに関しても、僕は良い案があれば残るのではないと思うのです。市民球場が移転したことに対しては問題がありますが、新球場の設計に関しては文句はあまりないというのは、コンペが最優秀の案が本当に素晴らしかった。

パスも素晴らしかったし、それに至る理念がすごかった。

ビジターとホームでロッカールームの広さが違うんじゃないかという質問に対して、野球なんだから当然ですみたいなことを言ったっていうのは、そういうことを言う人が設計者なんだから良いという、といった意味で、こうして今日4人の議員の先生が来ていただいて、相違があっても意見を交わせるってことが、すごく本当に有意義だなと思います。

そういった意味で僕が議員の先生に期待したいのは、今日ここに色々な意見を聞いたら、セブンイレブンの店長さんとかも意見が出せて、あとの方向が欲しいと言ったこともでてくると思うんですけども、議会とか市役所は良い案ができる仕組み作りが上がる制度作りに専念してもらいたいと思うんですけども、我々が秋葉市長も本当に、僕は秋葉市長を信任されたと思うんですけど、秋葉市長が選んだプランを信任した覚えはないんです。

だから、直接そういった意見を交わせる場といったものを用意していただきたいんですが、議会といったのは、たとえばどの案を支持するというのはすごく言いづらいと思うんですけども、市民が不満に思っているのも、その意見を直接市の担当者や市長にぶつける場といったものを作るといった点で協調したりすることはできないでしょうか。

### 豊島市議

至極ごもっともなご意見だと思います。

今、確かに窓口が広島市でしかない。

意見を言っていくところがですね。

広島市は、先ほど言っていましたように選考委員会というワンクッションを置くような手はずでそれを避けている。

まず1つ確認させていただきたいのは、私が間違っていたら言ってほしいんですが、今、二元代表制という地方政治の仕組みがあります。

それは市長と市議会議員のみなさんが直接選挙で選ばれるということです。

じゃあ、どちらが民意かということです。

これは、広島市長を選ぶというのは、私たち117万市民の代表者ではないと私は思っています。

株式会社広島市の代表取締役というのが広島市長。

その株主は有権者、納税者です。

じゃあ、私たちというのは、その株式会社広島市がちゃんと運営できているのかチェック・監視する役割が私たち議員という役割にみなさまが選んでいただいている。

じゃあ、その二元代表制を担う広島市議会というところが、そういったパブリックコメントだったり市民意見をそういうふうを受け止めて、行政に反映させる仕組みが、本当はやればできるんだけど、実は今ございません。

公聴会という制度もございません。

それは今ちょうど議論されている地方分権改革、地方分権の中において地方議会のあり方を変えていかなきゃいけない。

これは議会基本条例の前提であったり、特殊用語なんですけど、議会が自立してもっと機能していかなければいけない。

というようなことでちょうど今全国的な問題として捉えられておまして、今、広島市議会もそれに向けて動いていかなければいけないんじゃないのかという声徐徐に上がってきているレベルで、今はたいへん申し訳ない中で、議会としてパブリックコメントを受けて、行政に反映させるというようなことがな

いのが実情。

しかし、やっぱりこういったご意見があるし、今回、議員もこういうふうにみなさんに選んでいただいているわけですから、やっぱり出させていただく。そして、屈託のない意見交換、あまり本当のことを言えない、全部本当のことを言ってますけども、そういった意見で徐々にですね、今回のみなさんの活動が広島市のあり方は改めて変えているということは事実だと思いますから、こういったことで私たちも議会としてその声を直接反映していく場をこれからも作っていきたいと考えております。

### 母谷市議

今のお話に関して私もおっしゃる通りだと思いますが、そういう市長さんを選ばなきゃいけないということなんですよ。

もちろん仕組みも作らなきゃいけないですけども。

良い例では、この跡地利用で405件の案が出たんですよ。

市民のみなさんからと企業・団体のみなさんからと、それから最後に商工会議所と。

これがしかし、一番最初にも言いましたけど、優秀案しか決まらなくて最優秀案が決められなかったでしょ。

それをベースにして話をしているけれども、やりたいことは自分がこうだと言って市長さんが自分の案を言っているんですよ。

今までの選考委員会は何だったんだという話ですよ。

少しまた関連して言いますと、直接選挙で選ばれてますから市長さんはアメリカ生活が長かったせいか、みなさんに直接選ばれてるから自分は大統領だと思ってるんです、あの人は。

感覚的にね、何でもできると。

そういうことが、今こういうふうに表示していますよ。

そういうことの中で、我々議会といっても党派も会派も違って色んな考えを持った人たちがいますから、全部が賛成、全部が反対とならないところに難しさがありますけど、その中で強大な権力をもった市長にものを申していく、予算を修正する、否決する、色んなことをやっていくのはたいへんなことなんです、これはみなさんが思っている以上に。

イエスかノーかしかないんですけど、その真ん中がなかなかないわけですよ。予算案なんかでも100件も200件も、新年度予算だったら3000件も1万件もあるわけですよ、細かいとこまでいけば。

そのうちにおかしいところいっぱいありますけど、全部言ったら賛成もでき

なくて市民生活できなくなりますから、賛成せざるを得ない部分はありますが、それでもぐっと堪えながら予算を通して少しずつ前へ進んで行くというやり方しか我々にはできないけど、市長の持ってる権限っていうのは絶大ですから、いくら我々がみなさん市民と話をしようという跡地利用良いじゃないですかと言って話をしても、提案権はないですから、話はしますけれども、それじゃそれを取り上げて予算案に組み込んで提案してくるかといったら、聞かないですね、今の人は。

聞かないんですよ、だからこうやってもめるんです、跡地利用のことなんかも。雰囲気としてはみなさん新聞や報道で多少はわかっているかもわからないけど、基本的に自分でやる気がないから折鶴館をやることしか頭にないですから、この人は、今。

だから、どうやってかわすかということは考えていても、みなさんが言うことをどうやって取り入れようかということはあまり考えていないと思いますよ。それをするためには、さきほどリコールという激しい意見も出ていましたけども、そういうことも1つですね。

選挙ですから、これは。

もう1つは、広島市には住民投票条例というのができています。

平成15年だったか16年だったと思いますけど。

これは、広島市の重大な案件に対して市民のみなさんどう思いますかということに直接問いかけることができる条例です。

このときもいっぱい中身を修正して作りましたけど、市長権限の全面を反映したことになったから、市民のみなさんにもっと使いやすい条例に直してますけど、それは修正して可決してますけども。

そういう方法もありますから、折鶴館が良いのか、サッカー場が良いのか、どっちが良いんですかという住民投票条例やれば良いわけです、極端な話。

そういう方法もありますから、まだまだサッカー場が良いという人をもっともっと集約をして作った中でそういうことができなければ流れはできると思いますね。

#### 参加者

今の秋葉市長さんが当選されたときには、今の市民球場はまだそのまま存続するという意向で選挙を行われてたように思うんですが、それは間違いでないでしょうか？

今の秋葉市長の当選ですね、3年くらい前ですか2年半くらい前ですか、そのときには広島市民球場はまだそのまま残るという契約をされてて当選された

んじゃないでしょうか。

母谷市議

はっきり残すと言ったかどうかは私も記憶にないですが、サッカー専用スタジアムをどこかに作るということは言いましたね。

参加者

まだですね、市民球場がさきほどの裏話もよく知ってるんですが、移転する前に商工会議所を残すとか残さないとかP Lの建物を残すか残さないかということを検討してる段階で、選挙が行われたんじゃないでしょうかと聞いてるんです。

三宅市議

そうです。

参加者

今の市長さんが当選してしまったからもう市民球場を向こうへ持って行ってしまえという強引に行かれたんだらうかとは思いませんけども、まだあの段階ではですね、市民は承認していないですね、今の市民球場については。ですから、我々としては、何もサッカースタジアムが良いと言ってるんじゃないんですよ。やはりもっと 150 万人の集客をできるものを考えてくださいということから始まるわけですからね、この案は。

母谷市議

そうです。

その 150 万人もですね――

(さえぎって)

参加者

ですから、ですからね、さきほどもおっしゃられたように、あと 1 年 8 ヶ月みなさまのお力で延ばしていただけませんかということなんです。

母谷市議

それは今のような状況でまだ市民のコンセンサスという意味で、これが良いと

いう大きな流れができない中では、今と何も変わらなければ延ばさざるを得ないと思いますよ、現実問題としては。

何も決まらないのに、壊す必要もないわけですから、お金を早く使う必要もないわけですから。

#### 石橋

1つ言えることは、市議の先生方も市民の声を反映しようと議会でがんばってくださってらっしゃいますけども、これはもう僕の領界ではないんですが、そうたびたびの否決に、逆に市議の先生方がなぜ前に進もうというのを止めるんだと一般の市民の方からまた反感であったり反発を食らうことも、これがあるのは事実でして、だから、実際の話、2回までは否決はなんとかできるけど、3回目は難しいと、そういうのがあるのも実情でして、だからもっと市民のみなさんが現状を把握していただいて、もっと声を上げれば、それはここにいらっしゃる先生方が1年8ヶ月延ばしてくださると思いますので、そのためにもですね、やはり周知であり、声を上げていくことが大事かと思っておりますけども。で、また我々と一緒に能動的に活動していらっしゃる古池さんにもちょっとお話を聞きたいと思うんですが。

#### 広島市民球場跡地利用市民研究会・古池様

あの場所は、私たちや未来の人達にとって、特別で大切な場所となる可能性を秘めています。

あの場所と市民球場の意味、特殊性をよく考えて、市民の納得できる魅力あるプランを、大きな視点で計画することが、まず第一です。

球場を解体する範囲は、それができてから、それに沿って決まるべき。

先に解体しておいて、後から全体計画をするのは、都心の都市・建築計画上誤りであり、間違ってもそれをはやめてはいけません。

ここにいらっしゃる皆さんも含め、私たちがあの場所についてよく学び、考え、議論して、より良い場所にすべきだと思っています。

#### 喫茶マリーナ店長・中川様

(映像が中断しているため発言途中より)

こういう市議の先生の歯に衣着せぬというお話をぜひ、こういう場だけじゃなくてメディアに向かって、できれば話していただきたい。

議会で市長に向かってぐちぐち言うのも良いでしょうけども、そうじゃなくてね、僕らはこういう話がいちばん聞きたいんです。

それで、どういう方法をすれば、どういうふうに市長さんが動いてくれるという、そういう話がいちばん聞きたかったんです。

で、もう1つだけ最後に言わせていただくとすれば、私がこの問題にAFHの応援をさせていただくようになったきっかけというのが、そもそも秋葉さんが150万人の集客を見込める施設を作りますから、ぜひ現球場をヤード跡地に移転することを認めてくださいと地域の住民の人に話したんですね。

この言葉にね、僕は本当にうれしかったです、当時は。

そんなに、この人は自信があるんだ、と。

自信があるんだったら、じゃあ任せても良いんじゃないかなと一瞬思ったんです。

それであの瞬間に何を思ったか1票を投じてしまったんです。

で、こういうことになっちゃったんですが、まあ後の祭りでしょうがないんですけども、ただもうあの人にああいうふうに嘘を吐かれてしまったんで、だからこのまま、この球場跡地、跡地って言い方、大っ嫌いなんですけど、球場の問題を、こうしゅ〜んと風船が縮むようにさせるのだけは、何としてでも阻止したいし、もし解体…全面解体とかってなったら僕の顔、覚えといてください。あそこの球場の入り口で座り込みします。

(会場、拍手)

そういう気持ちで応援してますんで、みなさんもぜひAFHを応援してください。

石橋

ありがとうございます。

まだまだ議論は尽きないんですけども、申し訳ございません。

会場をお借りしております時間の方がございますので、パネルディスカッションは以上とさせていただきます。

以上